

進路だより

発行：平成27年5月29日

1 B@T@N ~卒業生による進路だより~



NO. 2

先輩の通う学部 Pick Up!

◎ 海事科学部 (編集長)

~カリキュラム・進路~

神戸大学海事科学部は、グローバル輸送科学科、海洋安全システム科学科、マリンエンジニアリング学科の3つの学科に別れています。

グローバル輸送科学科はさらに航海マネジメントコース、ロジスティクスコースに別れ、前者は主に航海士などの船舶職員を目指し、後者は「モノを作って売するための戦略」を、工学・情報学・法学・経済学視点から考え、物流のマネジメントを行います。海洋安全システム科学科は、海洋環境の保全や防災、海洋気象などを研究しています。マリンエンジニアリング学科は、機関マネジメントコース、メカトロニクスコースに別れており、前者は地球に優しい船のエンジン開発などを行っており、機関士を目指すこともできます。後者は流体力学や熱工学を駆使して、エコシップや海洋ロボットの開発に取り組んでいます。詳しくはパンフレットを参照してくださいね。

学科配属は2年次進級時に行われ、一年次の間に「海事科学通論」という授業を受け、どの学科に行くか考えます。そのため、航海実習や水泳の授業は必修ではありません。ただし、航海士・機関士になるには、2年次から毎年、一定期間の船舶実習に参加し、学部卒業後も6ヶ月間の船舶実習が必修です。

海事科学部は、教員によるきめ細やかな指導が特徴で、クラス担任制度(4年間持ち上がり)や、2年次から始まる基礎ゼミ、3年次の研究室仮配属などによって、本当にやりたいことが見つかります。また、各学年男子約180名に対し女子約20名という圧倒的な男子の割合を誇りますが、男女比はあまり気になりません。



神戸大学 海事科学部の様子

～研究内容～

今回、私自身も興味のある「膜」を研究している研究室を尋ねてみました(膜の研究は、神戸大学がととも力を入れている分野です。写真は、工学部の膜工学研究拠点です。海事科学部の研究室も入るかも知れません)。3つの実験室を先輩方が案内してくださいました。この研究室では、世界初のバリア膜と分離膜を開発、評価していて、毎日のように膜を作っては効果を確認しています。教授は“旧帝大にも負けない実験設備”ということアピールされていました。確かに実験器具が新しく、自作もされていて、非常に環境が整っているという印象を受けました。

海事科学部全体が、二年前に改組したばかりですし、何より日本で一つしかない学部なので、ユニークな研究がしたい人、一味違う学びを求めている人には、海事科学部をオススメします！



神戸大学 先端膜工学研究拠点

◎ 医学部保健学科 (M.S先輩)

～カリキュラム～

神戸大学医学部保健学科は看護、検査技術、理学療法、作業療法の4つの専攻に分かれています。

1年次は鶴甲第一キャンパス、2年次からは名谷キャンパスで勉強します。



神戸大学 医学部保健学科

神戸大学では、チーム医療を重要視しており各専攻、医学科との共同の授業や神戸薬科大学生も含めた実習などがあります。医師や看護師がバラバラに動くのではなく、情報を共有して各々の専門から意見を出し合うことでより良い医療を提供することができます。また、チームで動くことにより医療ミスの減少も期待されています。2年後期からは本格的に実習が増え、医療現場での動きを学べます。この時期からはとても忙しいですが、現場に出て多くの人と関わる機会が多くなり、やりがいを感じられます。また、「3年次の実習を終えて、看護師になりたいと強く思うようになった」という先輩も実際にいらっしゃいます。4年次では自分のやりたい分野の実習ができます。海外に行って看護を学ぶことのできるカリキュラムもあります。基本的には4年で卒業し、国家試験に合格して看

護師になり、神大附属病院や、それ以外の病院などに勤める人が多いですが、大学院で助産師や保健師の資格を取って、卒業後それらの職に就く人もいます。大学院に行ってから看護師になる人もいます。

神戸大学をもっと知りたいあなたへ

神戸大学では、公開講座が開講されます。神戸大学で今、盛んな研究を知って、自分の興味のあるものを探してみませんか？ オープンキャンパス(8月)では、限られた学部しか見ることができないので、この機会を利用してみましょう。生徒の皆さんは無料で参加出来ます。神戸大学公開講座2015については、は神戸大学ホームページを参照してください。